

地域と大学をつなぐ実務教育の可能性 ― 地域活性化に、実務家教員は何をもたらすのか ―

学会趣旨

本研究大会は、「地域活性化と実務家教員」をテーマに、地方大学が地域社会の持続的発展に果たす役割と、実務教育を担う実務家教員の意義や可能性を再検討することを目的としています。近年、地域活性化への期待が高まる中、実務家教員は地域の実践知と大学教育・研究を結びつける存在として注目されています。本大会では、大学の教育機能を「学生教育」と「リカレント教育」の両面から捉え、実務家教員の役割について多角的に議論します。基調講演では、宮崎大学のSPARC事業を事例に、地域活性化人材育成における実務家教員の関与について考察します。分科会では、地方におけるリカレント教育や社会教育士の役割、会員による自由企画を通じ、多様な実践や研究成果を共有しながら、地域社会に貢献する大学と実務家教員の新たな在り方を探究します。

登壇者紹介

■基調講演

大学教育/教養教育 (SPARC) × 実務家教員

白上 努 氏

(宮崎大学 副学長 教養教育・教学マネジメント・学生支援)
(経歴)



学位：博士（工学）

教授（工学教育研究部 応用物質化学プログラム）

副学長（教養教育・教学マネジメント・学生支援担当）

専門分野：光化学、金属ポルフィリン、人工光合成

研究キーワード：機能性材料、物質変換反応

■分科会

テーマ①リカレント教育×実務家教員

佐々木 英和 氏

(宇都宮大学 地域創生推進機構 教授)

(経歴)



現在、宇都宮大学教授、放送大学客員教授、東京大学非常勤講師。専門は教育学、特に生涯学習論・教育理論・コミュニケーション理論。教育概念に関する研究を深めるとともに、学びを通じた人間関係づくりを進めたり、自治体の生涯学習プラン策定に携わったりするなど、幅広く実践を行っている。著書に『社会教育経営実践論』（共著）、『人間教育の基本原則』（共著）など多数。

テーマ②社会教育士×実務家教員

竹本 佳代 氏

(飯野高校コーディネーター)

(経歴)



宮崎県えびの市出身。県内大学卒業後、都城市の企業勤務を経てUターン。カフェ勤務後、飯野高校で高校コーディネーターを3年間務める。昨年度、島根大学で社会教育士の資格を取得。今年度より、えびの市社会教育課 地域学校協働活動推進員として活動中。

テーマ③学会員企画

森 俊輔（社会構想大学院大学 実務教育研究科 研究生）

小泉 雄（社会構想大学院大学 兼任講師）

挽野 元（東京都市大学 客員教授）

藤岡 繭（愛知淑徳大学 助教）

松尾 博也（社会構想大学院大学 実務教育研究科 修了生）

問合せ：日本実務教育学会 Mail:office@jsper.jp

スケジュール

(1日目：6/27)

12:30-13:00 受付

13:00-13:20 開会行事

13:20-14:50 口頭発表

14:50-15:00 休憩

15:00-16:30 分科会

テーマ①リカレント教育×実務家教員

登壇者：佐々木 英和 氏

「対話参加型リカレント教育」の理論と実践

－「勉強蓄積基盤型教授」と「実務経験活用型学習支援」の往還－

テーマ②社会教育士×実務家教員

登壇者：竹本 佳代 氏

「学習設計者」として活躍する地域コーディネーターのキャリア ―社会教育士が描く地域教育の未来―

テーマ③学会員企画

実務教育学の社会実装を考える

－実践構想Labが果たす役割とは－

16:30-16:45 表彰式／今後の案内等

17:00-19:00 懇親会（宮崎大学学食）

(2日目：6/28)

9:00-9:30 受付

9:30-11:00 基調講演

大学教育/教養教育(SPARC)×実務家教員

登壇者：白上 努 氏

地域に根ざした大学の実務家教員

―宮崎版SPARC事業から見る実務家教員の役割と課題―

11:00-11:10 休憩

11:10-12:10 ポスター発表

(掲示は1日目から可能)

12:10-13:00 総会

13:00-13:10 閉会行事

※各講演のタイトルについては変更の可能性がございます。